

米山学友 リンダデニスさん 展覧会

3月16日から31日まで東京都千代田区神保町の古書店やギャラリー(5カ所)にて、海女の描かれた浮世絵にインスパイアされた参加アーティストによる平面作品の展示が行われていました。神保町の古書店やギャラリーでは多くの浮世絵を取り扱っており、日本を代表する芸術文化の拠点です。そこにある海女の浮世絵と参加アーティストの作品のコラボレーション展覧会でした。



RI会長からのメッセージ

2020~21年度会長 ホルガー・クナー

2021年3月

ローターアクターが素晴らしいリーダーになる可能性を私はこれまで目の当たりにしてきたので、3月8日から14日の世界ローターアクト週間が毎年楽しみでなりません。今年開催する全3回の会長主催会議では、どの回でもローターアクターを重点的にとりあげます。2年前に規定審議会がローターアクトクラブの地位を高めて国際ロータリーの加盟クラブとして認めた際には、ローターアクトクラブのことをとても誇らしく思いました。それ以前にも、規定審議会はすでに二重会員身分を認めており、それからほどなくして理事会がローターアクトの年齢制限を廃止する決定を下しています。

しかし、私たちの旅路は始まったばかりです。効果的な連携というのは自然に生まれるものではありません。双方が心を開き、世代間の連携の価値を分かっている必要があるのです。ローターアクトとロータリー両方に所属するルーイ・ド・リアルさんがこう話してくれました。

「バーチャルの合同会合で、ローターアクターがロータリアンに新しいアイデアやツールを教えてくれたので、クラブ間で協力する新しい方法を実践するようになりました。ウイルスの世界的流行と緊急事態対応に関しては、ローターアクトクラブはソーシャルメディアを使って連携して活動し、情報を拡散し、資金を集めます。一方、ロータリークラブはネットワークとリソースを活用して支援を強化し、輸送などを手配し、地域社会に物資や奉仕活動を提供します。

ローターアクターの変革的なバーチャルでの活動と専門能力開発の活動にインスピレーションを受けて、ロータリアンはそういった活動を支援し、自分たちも身を乗り出すようになりました。一方ローターアクターたちは、今回の流行で、バーチャル・プラットフォームを使えばロータリークラブとすぐにつながり、連携できることを学びました。こうして頻りに協働する中で、ロータリーとローターアクトは本当にお互いを補完しあう存在であることを私たちは悟りました。同じ組織の、共通の目標を分かちあうパートナーなのです。

お互いに価値がある存在です。ロータリアンはローターアクターにとってメンターや奉仕活動のパートナーとなり、ローターアクターは、デジタルな方法を使えば込みいった作業は単純なものにすることができて、限界も超えることができるのでロータリアンに教えることができます。このお互いを高め合う関係により、ローターアクターは先々ロータリアンとなっていきます。私がロータリーに入会したのは、ロータリアンと協力する中で感銘を受ける体験からです。ロータリアンになって、同じような感動をローターアクターたちに今、そして今後も与えたいという気持ちに駆られました。

このお互いを高め合う関係のおかげで、ロータリアンも、ローターアクトは文化は違っても行動を起こすために人びとを結集させるという共通のビジョンを持っていることに気づくことができます。ローターアクトの独自のやり方は変革を起こすインスピレーションとなり、ロータリーが今後の課題に対応する能力を強化する後押しをしてくれます。ロータリアンとローターアクターは一緒に未来を築きます。ですから、手を携えるのは今です」

私はロータリークラブとローターアクトクラブの間に何ら違いはないと思っています。平均年齢は違うかもしれませんが。

多くのロータリアンがローターアクトをいまだに青少年の団体としてとらえていますが、私の考えは違います。私にとっては、ローターアクトは私たちの一部であり、私たちと似た存在なのです。どちらも栄えていくためには、互いに敬意を抱かなくては、互いを対等の存在としてみなければなりません。ローターアクトをありのままに理解しましょう。彼らは学生であり、若きリーダーたちです。しかし同時に、2014年にベルリンで開催したロータリー研究会(とさらに5カ国語での分科会)を計画し、手配し、運営をこなす、有能なマネージャーであり実業家でもあるのです。

ともにこの旅路に発つにあたって、ロータリーとローターアクトの強みを忘れないようにしましょう。そして、ルーイが言うように、今すぐ手を携えて一緒に未来を築きはじめましょう。そうする中で、ロータリーのためにいくつもの機会の扉を開くことができるのです。

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO
BAY
ROTARY
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区
VOL.30 NO.23 第1362回 2021年4月1日



Rotary Opens
Opportunities
ホルガー・クナー会長

第2580地区ガバナー
野生司 義光(東京小石川RC)

30周年 新たなる一歩へ! 会長 岡本隆一

本日のプログラム

クラブ協議会

次回以降のプログラム

4月8日 地区大会
(出席者のみ移動例会)
4月15日 通常例会

2021年3月
報告事項

※詳細に関しましては、郵送させて頂きました、週報3月号をご覧ください。

<会長・幹事報告>

・3月度の理事役員会は、メールにて審議致しました。(審議内容は、4月度のプログラム及び2月度の会計報告でした。2件とも承認されました。)

<委員会報告>

・野木カウンセラーより(米山奨学):3月31日をもちまして、アインさんの米山奨学期間が終了致しました。残念ながら、皆さんと会うことは叶いませんでしたが、一度、会食の時間を取らせていただきました。

アインさんからのメッセージ

「東京ベイロータリークラブに所属し、あっという間に2年が経ちました。2年間を振り返ってみると、学業とともに、充実したロータリー米山奨学生の生活を送り、日に日に自分の成長を実感できました。カウンセラーの野木さんを始め、クラブの方々大変お世話になりました。学業及び留学の生活についていつも相談させていただき誠に感謝しております。将来ベトナムと日本の架け橋となるような役割を果たすことを目指し、大学院でも研究に専念しつつ努力していきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。またお会いできるのを楽しみにしております。」



■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1

ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615

■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F

TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611

E-mail tokyobay@club.email.ne.jp

HP https://tokyobayrotaryclub.com

■ 役員 / 会長 岡本 隆一
会長以外 原田 俊彦
幹事 原田 俊彦
副幹事 田中 保

会報委員長 市川 英治



本年はコロナ禍で強引に挙行した30周年記念例会が1回目で、今回が2回目の4月例会となりました。私は、1月がロータリーにとって最も重要な「職業奉仕月間」だったので、2回に亘って寄稿文を用意していましたが、この場での披露となってしまい、時期が外れた職業奉仕となってしまいました。宜しくご一読お願い致します。

第十四回 「職業奉仕月間に因んで」
—職業奉仕が何故生まれたか？—
—職業奉仕がロータリー運動の中核と言われている訳は？—

- ◎1900年前後
ロータリー創始者ポール・ハリスの描いた夢
 - ①「職業上の交友と家族的、友好的交友と併せて可能にする親睦団体のクラブ作りは出来ないものかなあ・・・」
 - ②「職業人の友愛の精神をもって助け合うことが出来ないかなあ・・・」
 - ③「職業人により世の中を正常に明るくできないかなあ・・・」
- 賢明な本人の深層心理としては、先ず、商人、職業人にターゲットを絞り倫理運動が出来ないか？と考えたのでは・・・。

いよいよ発会、最初の決め事

- ◎1905年「一業一会員制」
 - 「規則的例会出席」
- } 二大原則とした

※厳格な「一業一会員」を鉄則とし、運営を進展させられるか否かが鍵と強く思考した。

先ず、会員間の「親睦」「相互扶助」に重きをおいた

- ・安心、安全な商取引！
- ・経営のアドバイス、改善策！
- ・Exchange of Idea！
- ・異業種の会員増強を図ろう！
- ・友愛、信頼を互いに実感する会にしよう！

安心安全で「良き商売が出来る」上に「自己の発展を目的とする実践活動」に繋がる。背景の思想原理は、やや宗教がかったが犠牲、献身、愛、勤勉、他人に対する思いやりと尊重を・・・も願ったのです。

もう既に「相手を思って職業を！！」という心理を当然のものとしていた訳です。

◎ロータリー発会直後か、クラブ会員に決められた11ヶ条の取り決めを厳しくも凛々しく強気で行った

- ①一業一会員制 ②団体行動の禁止、政治、宗教、派閥厳禁 ③ファーストネームで呼び合う慣例
 - ④歌の合唱 ⑤役員をやる—互譲の精神— ⑥職業上の扶助経営、職業上の語り合い、金融、生産性、労使産業立法、売り上げ、取引高 ⑦テーブルスピーチの慣例（卓話） ⑧出席義務 ⑨時間厳守
 - ⑩会員名簿と写真 ⑪例会食事
- 運営上の条件を厳格に取り決め、これが「功を奏した」ことにあり発展の好材料となったのです。

とにかく、この時の世相は経済として発展途上ではあったが、中・小商人にとっては「喰うか、喰われるか」「騙すか、騙されるか」殺伐としていた。

こんな背景に現われたロータリーは「安心、安全な商いが出来る会だ」「善良な商人の会だ」「助け合い、アイデアを与えてくれる会だ」「自分のためになる会だ」等と人気が出始め、何とか入会しないと損だ！！と関心が高まり入会希望者が増えた。ロータリーは、発展に発展を、開発に開発を重ね自転し始めた！！

会員の積極性もあり、1つの魔力のように拡大していったと言えます。

◎1906年、初めての定款が綱領を兼ねていた

- 第一条 「会員の業務上の利益を振興すること」
- 第二条 「社交クラブに伴う親睦、その他、望ましい諸点の振興すること」

「先ずは、親睦のうちに安心して儲かる商いが出来る」会を！！

◎1908年 A.Fシェルドンが入会したが、以前からロータリーを見ていた彼は、ロータリーを「職業上の発想刺激による Service —職業を相手の心を思って営む— の形成だ」と映っていた模様。しかして、この実践の利潤追求を敢えて「職業Service」と断定し名付けた。


続く➤

いわゆる前述の精神？も入った（やや宗教的な）己の職業は天職というワードを使い「Vocational Service」「職業Service」が出現した。つまり、A.Fシェルドンによって

- ・ロータリーに「職業（Vocational）Serviceを決定的に意味づけた」
- ※日本語訳の「職業奉仕」なのですが・・・！！
- ・「ロータリーの基礎にServiceを据えた」

「He profits most who serves his fellows best」を発表

本来のServiceの語源の意味は

ロータリーのServiceは奉仕と訳すべきではない 	
SERVICE 「ランダムハウス大辞典」では	アメリカ、カナダ、英語圏
「相手を思いやり、相手のためになる行為」	横社会（並列）
奉仕 「広辞林」では	日本
「仕えまつる」「与える」「恵む」	縦社会 上から下へ（縦列）
佐藤千寿さん「論語の文字だが、ぴったりなのが」	
* 忠恕だ！！ 「忠」→「内なる真心に背かない」こと	
「恕」→「真心による他人への思いやり」	
(岩波文庫の解説)	
※米山さん、井坂さん、村田さん、廣畑さん、佐藤さんもServiceと言いつけた	

「忠恕」の意味で、これを深く理解できると思います。

（まとめ）・・・P・ハリスの描いた思い、夢・・・！・・・

1910年、最初のロータリーの綱領も「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓舞し、これを育成・・・云々」と職業奉仕に重きをおき下記の如く作成！！

- 第一 「奉仕の機会として、知り合いを広めること」
- 「職業奉仕」について①事業上の倫理基準の高揚 ②他の職業の価値と認識を深めること
- ③各自の職業の社会的信用を確立することにつとめ、これを「職業奉仕」の基礎とすべきである・・・等

第二 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。
有用な職業は尊重されるべきである。ロータリアン各自が、自己の職業の社会的責任を自責すべきこと。

◎ロータリーの職業奉仕

ロータリーは「人を育てる、高める、心の開発を促し、奉仕（相手を思う）の心を授け、倫理をもって職を営み、生き、世の中を正しく、明るく導く、を提唱しよう」の倫理運動だ。

“その中核に位置するのが職業奉仕だ”と定義！！

この辺で、パストガバナーの代表的な「職業Service」（職業奉仕）とは・・・を記しておきます。

◎深川純一先生 「世のため人のために奉仕する心と職業を営む心は一つの心だ」
— ロータリーの定義です — と。
「職業を倫理的に営むべし」

◎小堀憲助先生 「必然的に職業を営む過程に、世のため人のためという倫理性を要求する。
故に職業と倫理が一元となる」 — ロータリーの定義 —

お解りでしょうか・・・、さすが、学者先生方の論述です。

15回で、ビチャイ・ラタクルさんの「職業奉仕」、もう少し柔らかい表現のパストガバナーの弁を書きます。

繰り返します。

そもそも、ポール・ハリスの発想の全く思い通りに職業Service（奉仕）の心を持って、世を正し、明るく・・・導く。

人は如何にあるべき、生きるべき？ 心の開発を促し、道徳を守る人間、倫理を守る人間づくり、そして、世に、社会に倫理運動を投げかけた、と言うことになったのだと思います。

— その中核が職業奉仕 —

(参考) 初期ロータリークラブ拡大状況

- ・1908 サンフランシスコに第2のロータリークラブ誕生
 - ・1920 758RC 56,800人 東京RC創立
 - ・1925 2096RC 108,000人
 - ・1938 4712RC 200,998人
- 上記の如く急拡大に発展した！！

以上